「全人工股関節置換術後１年における股関節外転筋力の回復に影響を及ぼす因子の検討」について

加古川中央市民病院リハビリテーション室では、現在、入院され、人工股関節全置換術を施術された患者さんを対象に下記の研究を実施しております。
尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

[研究概要及び利用目的]
全人工股関節置換術後１年時点の筋力を調査し、筋力回復に影響を与える因子を調査・検討することで、今後の理学療法アプローチについて再検討することを目的とします。

[研究期間]
研究期間：加古川中央市民病院院長許可日～西暦２０２１年9月13日
データ収集対象期間：2018年2月1日～2019年11月30日

[取り扱うデータおよび試料・情報の項目]
2018年2月1日から2019年11月30日の間に全人工股関節置換術を受けた患者さんの下記データを診療録より収集致します。
①患者情報：身長、体重、年齢、性別等を使用します。
②測定データ：股関節外転筋力、膝伸展筋力、股関節可動域、Timed Up＆Go Test、10m歩行を使用します。

[個人情報保護の方法]
プライバシーの保護に配慮するため、患者さんの試料や情報は、容易に識別することができないよう、対応表を作成して管理します。収集された情報や記録は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、加古川中央市民病院のリハビリテーション室のカギのかかる保管庫に保管します。
また、研究結果の発表の際にも個人が特定される情報は公表いたしません。

[データおよび試料提供による利益・不利益]
利益：診療録からの情報収集のため利益はありません。
不利益：同様に診療録からの情報収集のため不利益もありません。

[登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて]
患者さんよりご提供いただきました情報は、研究期間中は加古川中央市民病院リハビリテーション室において厳重に保管いたします。
また、個人を識別することができないよう、研究登録番号を付与し、対応表を作成します。対応表は各施設の個人情報管理者が厳重に管理し、第３者にはその情報が誰のものかまったくわからないようにして研究を進めます。
なお、保存した試料や情報を用いて新たな研究を行う際は、研究倫理審査委員会の承認を得た後、情報公開文書を作成して病院のホームページに掲載します。

ただし、患者さんが本研究に関するデータ使用の取り止めを申出された場合には、申出の時点で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄いたします。

［研究成果の公表について］

研究成果は関連学会など学術目的のため論文や学会等で発表されることがありますが、その際も個人が特定される情報は公表いたしません。

[研究へのデータ使用の取りやめについて]

いつでも可能です。患者さんのデータを用いられたくない場合には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。同意の取り消しを受けた時点以降、患者さんのデータは本研究に用いることはありません。しかしながら同意を取り消した時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた時は、廃棄できないことをご了承ください。

[問い合わせ窓口]

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の連絡先までお問い合わせください。

加古川中央市民病院　診療支援部　リハビリテーション室
研究責任者名　中川　翔生
連絡先：079-451-5500